

ふりがな 氏 名	たけだ とくのり 竹田 徳則	職 名	教授
取 得 学 位	博士(社会福祉学)	学会での受賞歴	第27回総合リハビリテーション賞受賞 (令和元年9月)
主な担当科目	リハビリテーション概論、健康増進とリハビリテーション、予防的作業療法学、作業療法管理学、研究法概論		
所 属 学 会	日本認知症ケア学会、日本認知症予防学会(代議員令和元年6月から現在に至る)、 日本公衆衛生学会、日本老年精神医学会、日本老年社会科学会、日本作業療法士協会、 愛知県作業療法士会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
新訂 認知症介護実践者研修標準テキスト. 認知症の人への非薬物的介入. ワールドプランニング. 〈ISBN〉978-4863512160	令和4年 3月	日本認知症ケア学会編 担当:認知症の人への非薬物的介入(p238-255)について執筆した。生活に欠かすことのできない作業活動について、認知症の人への実践応用として作業活動の捉え方、非薬物的介入の基本、非薬物的介入の実際、評価について展開した。
認知症ケア標準テキスト改訂6版 認知症ケアの実際 II:各論. ワールドプランニング. 〈ISBN〉978-4-86351-233-7	令和4年 11月	監修 認知症介護研究・研修センター 担当:第5章リハビリテーション(p207-223)において、認知症のリハビリテーション及び作業療法について展開した。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	住民主体の楽しい通いの場づくり 〈ISBN〉978-4-8180-2187-7	共	平成31年 3月	日本看護協会出版会	近藤克則(編) 著者:荒木典子、太田崇、大田康博、岡田栄作、尾島俊之、甲斐裕子、小林美紀、近藤克則、近藤尚己、竹田徳則、他6名 担当:全111ページ中、ボランティア研修(p46-52)を執筆した。
	ソーシャル・キャピタルと健康・福祉実証研究の手法から政策・実践への応用まで 〈ISBN〉978-4-623-07774-8	共	令和2年 4月	ミネルヴァ書房	近藤克則(編著) 著者:近藤克則、斎藤雅茂、藤野善久、浅川剛、尾島俊之、村山陽、藤原佳典、佐々木由理、宮國康弘、岡田栄作、小坂健、相田潤、近藤尚己、藤原武男、竹田徳則、他5名 担当:地域での健康づくりとソーシャル・キャピタルー通いの場に着眼した取り組み(p220-237)を執筆した。

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
論 文	Influence of social relationship domains and their combinations on incident dementia: a prospective cohort study	共	平成 30 年	J Epidemiol Community Health72(1)	Saito T、Murata C、Saito M、 <u>Takeda T</u> 、Kondo K p.7-12
	物忘れを主訴とした高齢者の軽度認知機能障害に関する神経心理学検査及び日常生活活動の特徴	共	平成 30 年 2 月	認知症予防学会 7(2)	備前宏紀、 <u>竹田徳則</u> 、木村大介、山名知子 p. 13-19
	フレイルから改善した地域在住高齢者の特徴:JAGES 縦断研究	共	平成 30 年 9 月	総合リハ 46(9)	渡邊良太、 <u>竹田徳則</u> 、林尊弘、金森悟、辻大士、近藤克則 p.853-862 第 27 回総合リハビリテーション賞受賞論文
	手段的日常生活活動(IADL)は認知機能に対し保護的に作用するのか. 内側側頭葉の萎縮—認知機能・IADL の相互関連の検討—	共	平成 30 年 10 月	作業療法 37(5)	備前宏紀、 <u>竹田徳則</u> 、木村大介、山名知子 p.537-544
	Change in Municipality-Level Health-Related Social Capital and Depressive Symptoms: Ecological and 5-Year Repeated Cross-Sectional Study from the JAGES	共	令和元年 6 月	Int J Environ Res Public Health 16(11)	Watanabe R、Kondo K、Saito T、Tsuji T、Hayashi T、Ikeda T、 <u>Takeda T</u> doi:10.3390/ije rph16112038
	Correlations between Forgetfulness and Social Participation: Community Diagnosing Indicators	共	令和元年 7 月	Int J Environ Res Public Health 16(13)	Seungwon Jeong、Yusuke Inoue、Katsunori Kondo、Kazushige Ide、Yasuhiro Miyaguni、Eisaku Okada、 <u>Tokunori Takeda</u> 、Toshiyuki Ojima doi: 10.3390/ijerph16132426
	診断前後のサポートはどうあるべきか 作業療法士の立場から	単	令和元年 8 月	老年精神医学雑誌 30(8)	竹田徳則 p.877-883
	地域で継続して生活するためにフレイルと心理社会面に着目した作業療法	単	令和元年 9 月	OTジャーナル53(11)	竹田徳則 p. 1128-1134
	通いの場参加後の社会参加状況と健康情報・意識に関する変化—JAGES 通いの場参加者調査	共	令和元年 11 月	総合リハ 47(11):	林尊弘、 <u>竹田徳則</u> 、加藤清人、近藤克則 p.1109-1115

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
論文	地域在住フレイル高齢者と社会参加活動に関する定性的システムレビュー — 介入効果に関する検討	共	令和2年 9月	日本サルコペニア・フレイル学会雑誌 5(1) http://Jssf.umin.jp/news.Html .	森優太、 <u>竹田徳則</u> 、渡邊良太、窪優太
	介護予防制度改正による二次予防対象者割合の変化:複数市町データによる検討—JAGES 横断分析	共	令和2年 11月	地域リハビリテーション 15(5)	加藤清人、 <u>竹田徳則</u> 、林尊弘、平井寛、鄭丞媛、近藤克則 p.382-388
	通いの場への理学療法士の関与有無別による身体的プレフレイルと健康関連指標の変化—1年間の非ランダム化比較試験	共	令和3年 6月	日本サルコペニア・フレイル学会誌 5(1)	森優太、 <u>竹田徳則</u> p.122-130
	回復期リハビリテーション病棟認知症併存患者における行動・心理症状の実態と変化	共	令和3年 10月	作業療法 40(5)	佐藤英人、 <u>竹田徳則</u> p.598-607
	通いの場参加高齢者における身体的プレフレイルと関連要因の検討 — 身体・心理・社会面に着目した横断研究—	共	令和4年 3月	日本予防理学療法学会誌 1	森優太、 <u>竹田徳則</u> p.10-18
学会発表	いの場2時点参加有無別社会参加状況の変化—JAGES 2013-2016 パネルデータ分析	共	平成30年 10月	第77回日本公衆衛生学会総会(郡山市)	<u>竹田徳則</u> 、平井寛、加藤清人、村田千代栄、近藤克則(ポスター)
	「通いの場」はソーシャル・キャピタル醸成の場となるか?	共	平成30年 10月	第77回日本公衆衛生学会総会(郡山市)	村田千代栄、 <u>竹田徳則</u> 、斎藤民、平井寛、加藤清人、近藤克則(ポスター)
	認知症予防に向けた「通いの場参加」は社会参加促進の地域づくりにつながるか? — JAGES 2013-2016 パネルデータ分析	共	令和元年 10月	第9回日本認知症予防学会学術集会(名古屋市)	<u>竹田徳則</u> 、林尊弘、平井寛、他(口述)
	地域在住高齢者の通いの場参加状況別のうつ発症率	共	令和元年 10月	第78回日本公衆衛生学会総会(高知市)	加藤清人、 <u>竹田徳則</u> 、林尊弘、平井寛、近藤克則(ポスター)
	通いの場参加者に対するリハビリテーション専門職関与はフレイルと健康指標に変化を認めるか	共	令和2年 9月	第7回日本予防理学療法学術大会(オンライン)	森優太、 <u>竹田徳則</u> (ポスター)

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
学会発表	通いの場参加の身体的プレフレイル高齢者における関連要因の検討 -身体・心理・社会面に着目した横断研究-	共	令和3年11月	第8回日本予防理学療法学会学術大会(オンライン)	森優太、 <u>竹田徳則</u> (口述)
	通いの場に来る日は普段よりも歩く時間は長いのか? -JAGES参加6市町の分析	共	令和3年12月	第80回日本公衆衛生学会総会	<u>竹田徳則</u> 、加藤清人、平井寛、近藤克則(ポスター)
	通いの場参加をきっかけにした運動の会等への参加開始状況 -JAGESプロジェクト-	共	令和3年12月	第80回日本公衆衛生学会総会	加藤清人、 <u>竹田徳則</u> 、林尊弘、平井寛、近藤克則(ポスター)
	コロナ禍において再開された通いの場への参加者割合-武豊プロジェクト	共	令和4年10月	第81回日本公衆衛生学会総会	<u>竹田徳則</u> 、平井寛、加藤清人、近藤克則(ポスター)
	COVID-19流行期間に新たに始めた健康保持活動の有無と活動種目-JAGESプロジェクト-	共	令和4年10月	第81回日本公衆衛生学会総会	加藤清人、 <u>竹田徳則</u> 、林尊弘、平井寛、近藤克則(ポスター)
学会発表(シンポジウム)	ソーシャルキャピタルと認知症予防「サロン活動を通じた認知症予防-武豊プロジェクト」	単	平成30年9月	第8回日本認知症予防学会学術集会(東京都)	竹田徳則(シンポジスト)
	自治体・住民と取り組む地域参加型研究(CBPR)「武豊町住民ボランティア育成におけるデータ活用例」	単	令和元年10月	第78回日本公衆衛生学会総会(高知市)	竹田徳則(シンポジスト)
講演会等講師	「認知症にならずに健康で長生きする秘けつⅢ」	単	令和元年7月	知立市生涯学習講座「高齢者教室」(知立市中央公民館)	
	「高齢者の健康づくり」	単	令和元年8月/11月	いきいき教室拠点型講演会(名古屋市港区正保コミュニティセンター/第Ⅱ港寿楽苑地域交流スペース)	
	「認知症にならずに健康で長生きする秘けつ」	単	令和元年9月	知多市・星城大学連携講座(知多市中部公民館)	

区分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発行・ 発表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
講演会等 講師	「認知症にならずに健康で長生き する秘けつ」	単	令和元年 11月	刈谷市教育委員会市民 講座「暮らしのセミナー」 (刈谷市社会教育センタ ー)	
	「認知症になってもみんなが安心 して暮らせるまち瑞穂」	単	令和4年 11月	名古屋市瑞穂区地域包 括ケア推進市民講演会 (名古屋市瑞穂区役所講 堂)	
	「認知症にならずに健康で長生き する秘けつ」	単	令和4年 11月	名古屋市名東区認知症 市民講演会 (名東文化小劇場ホー ル)	
	「一歩先行く健康づくり」	単	令和4年 11月	愛知県武豊町憩いのサ ロンボランティア講演会 (武豊町中央公民館)	
	「地域で自主活動を継続するには」	単	令和4年 12月	知多市健康と絆づくり隊 講演会 (知多市保健センター)	
	愛知県武豊町憩いのサロンボラ ンティア座談会	単	令和4年 2月/3月	愛知県武豊町憩いのサ ロンボランティア座談会 (武豊町思いやりセンタ ー)	
	「地域で作業療法士が知っておく べきことー介護予防推進に向けた 作業療法的視点ー」	単	令和5年 3月	愛知県作業療法士協会 地域活動実践者研修会 (オンライン開催)	
「住み続けられる街づくりー住民が 主体の通いの場」	単	令和5年 3月	一般社団法人 日本看 護研究学会 第27回東 海地方会学術集会講演 (オンライン開催)		

区分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発行・ 発表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
その他 (報告書)	ポピュレーションアプローチによる 認知症予防のための社会参加支 援の地域介入ー平成 29 年度研究 報告書(研究代表)	共	平成 30 年 3 月	厚生労働科学研究補助 金(認知症政策研究)	竹田徳則、近藤克則、平井寛、 加藤清人、鄭丞媛 平成 29 年度総合研究報告及び 分担研究報告書 7 編からなる報 告書全 76 ページを編集、うち 1 編執筆と 5 編分担執筆し公開し た。
	社会参加支援による認知症の予防 に向けた心理社会的経路の解明 に関する研究ー報告書 (研究代表)	共	令和 3 年 11 月	科学研究費補助金基盤 研究B	竹田徳則、近藤克則、平井寛、 加藤清人 令和 2 年度実施「通いの場参加 者調査」報告書として全 92 ペー ジを編集、うち 3 編執筆と 3 編分 担執筆し公開した。